

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	中心都市拠点・生活拠点づくり事業		コード	3 - 1 - 1 - 1		
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり			
	市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり					
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	都市建設部	都市計画課	課等長	高石 和明
予算科目	会計	-	款	-	項	-
根拠法令	都市計画法・都市計関連法		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	市を活性化するためには、広域的な拠点から身近な拠点まで大小さまざまな拠点を作り、地域の特性を生かしたまちづくりを進める必要がある。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	白井駅（中心都市拠点）・西白井駅（生活拠点）	市役所、白井駅前周辺や西白井駅前周辺などの都市拠点において、地域特性に合わせたにぎわいづくりを実現することで中心都市拠点・生活拠点の充実を図る。
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	
	・中心都市拠点・生活拠点における商業施設やにぎわい施設の誘導施策を実施。	

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・H28年度に策定した「市街化調整区域における地区計画の運用基準」により、市街化調整区域において、にぎわいづくりを実現するため商業施設の誘導を可能とする地区計画（根公益的施設誘導地区地区計画）の策定の手続きを行っている（30年度継続）。 ・H28年度に策定した「用途地域の指定方針及び指定基準」に基づき、市役所・白井駅周辺及び西白井駅周辺について用途地域の変更並びに地区計画を策定するため調査・研究を行った。	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）

4 コスト (Do②)

(千円)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
事業費計 A							
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
一般財源	0	0	0	0	0	0	
人件費計 C	0	811	795	795	795	795	
内訳	正職員	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		人件費	0	811	795	795	795
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	0	811	795	795	795	795	
市民1人コストD/人口(円)	0.00	12.79	12.46				
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
① 年間商品販売額（卸・小売業）の上昇率	%	目標	-	-	-	10	千葉県「商業統計調査」からの年間商品販売額（小売業）の上昇率
		実績	-	-	-		
種別	成果指標	指標の方向					
達成率			-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	79.5	コスト効率
②		目標					
		実績					
種別		指標の方向					
達成率			-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	コスト効率

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	○	市の中心拠点である市役所、白井駅周辺及び西白井駅周辺のまちづくりを進めることは、市の活性化を図るために必要である。
市が関与する必要性は薄れていないか	○	
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	○	
有効性	○	都市拠点において商業施設やにぎわい施設の誘導を図ることにより、各拠点の特性を活かしたにぎわいづくり、まち全体の活性化につながるため、有効である。
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	
効率性	○	都市計画的手法を活用して、民間活力の誘導を図るものであり、効率的である。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者二つの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了
事業の方向性	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 終了
	<input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し			
	<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合			
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善			
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大			
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大			
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し			
	<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用			
	<input type="checkbox"/> その他			
	改善内容			
改善により期待される効果				

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	マルシェにぎわいづくり支援・協働事業		コード	3 - 1 - 1 - 2		
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点にぎわうまちづくり			
	市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり					
事業期間	平成27年度～平成32年度	担当	市民環境経済部	市民活動支援課	課等長	岡田 光一
予算科目	会計	-	款	-	項	-
根拠法令			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	市の拠点となる場所において、市民の力を生かしたにぎわい、交流づくりを進めるため開催した。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	市民・市外の人	市の拠点となる場所で人々の交流、にぎわいを創出する。
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・市民団体が主催する「ときめきマルシェ」の総合相談、物品等の貸し出し、開催の周知等の支援の実施	

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・団体への支援 物品貸し出し、保育園・小学校へのチラシ配布（ボックス利用）による開催周知 開催場所・駐車場の使用許可	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）
	その他（団体自立の促進）	・問い合わせ窓口として団体窓口を設定 ・団体の所有物品の充実による市の物品貸し出しの減少

4 コスト (Do②)

(千円)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
事業費計 A	486						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
一般財源	486	0	0	0	0	0	
人件費計 C	1,588	24	24	24	24	24	
内訳	正職員	人数	0.200	0.003	0.003	0.003	0.003
		人件費	1,588	24	24	24	24
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	2,074	24	24	24	24	24	
市民1人コストD/人口(円)	32.84	0.38	0.37				
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
① 参加人数	人	目標	5,000	5,000	5,000	7,000	ときめきマルシェ一回開催ごとの参加者数
		実績	2,800	3,000	5,500		
		達成率	56.0	60.0	110.0		
指標1単当たりコスト(千円)			0.7	0.0	0.0	0.0	コスト効率 向上
② 出店数	者	目標	20	35	60	90	ときめきマルシェの1回当たりの出店数
		実績	25	36	78		
		達成率	125.0	102.9	130.0		
指標1単当たりコスト(千円)			83.0	0.7	0.4	0.3	コスト効率 向上

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性		
市が関与する必要性は薄れていないか	○	市民団体だけでは実施できない支援を市が行うことにより、参加者の増加、内容の発展が見込めるため、必要性は高い。
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	×	
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性		
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	×	参加人数や出店数は増えており、手段は適正であり有効性は高い。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性		
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	出店数の増加に伴い、自己財源が確保されつつあり、効率性が高まっている。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 イベントに参加したいという声や、次回開催を期待する声も多く上がっており、市民の関心は高まっている。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 ( 年度 ) <input type="checkbox"/> 終了 ( 年度 )
	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期： H 年 月) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期： H 年 月)
改善内容	
改善により期待される効果	

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	フェスティバル開催事業	コード	3 - 1 - 1 - 3
位置づけ	拠点創造プロジェクト 都市拠点がにぎわうまちづくり 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり		
事業期間	平成28年度～平成32年度	担当	市民環境経済部 産業振興課 課等長 川村 俊男
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -		
根拠法令	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	駅周辺などにおける地元商店の沈滞状況		
目的	対象（誰・何を） 地元商店や市内外の市民	意図（どういう状態にしたいか） 市内外の人の交流や賑わいを生む	
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・白井、西白井駅周辺など市役所以外でのふるさとまつりイベントの開催 ・地元商店会との話し合い		

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・ふるさとまつりの会場について、ふるさとまつり実行委員会で地域のにぎわい創出と、駐車場不足や手狭になってきた会場を見直し、総合公園での開催を検討していくこととした。 ・白井、西白井周辺でのイベントについては、既存のイベントの開催状況を踏まえて検討することとした。		
	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	
	その他		

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計 A							
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費計 C		0	0	0	0	0	0
内訳	正職員	人数					
		人件費	0	0	0	0	0
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	0	0	0	0	0
市民1人コストD/人口(円)		0.00	0.00	0.00			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明	
①	種別	指標の方向	目標	-	-	-	-	コスト効率	-
			実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-				
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	-	-		
②	種別	指標の方向	目標	-	-	-	-	コスト効率	-
			実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-				
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	-	-		

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	—	市役所を主会場にふるさとまつりが継続されることになり、駅周辺でホワイトフェスティバルやときめきマルシェがすでに開催されている状況で、事業の整理や見直しの必要がある。
有効性	—	同上
効率性	—	同上
市民・対象者ニーズの状況・内容	—	駅前でもマルシェ等が試行された際、地元事業者の負担が高い割に商売に結びつかず、営業にも支障をきたしたという意見あり。また、市の催しへの参加者の車で駐車場が埋められ営業妨害であるという苦情が駅周辺の事業者から多くなっている。

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 ( 年度 ) <input type="checkbox"/> 終了 ( 年度 )
	<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期: H 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年 月)
改善内容	・各種イベントの開催状況を踏まえ、必要性を含めた再検討を行うとともに、地域の会場適性を検討しつつ、庁舎整備後のふるさとまつりの発展的な有り方を目指してゆく。地元商店の賑わい、活性化については、商工会などと連携し、創業支援や空き店舗の活用により駅前の店舗数の拡大を支援するなど、賑わいを創出する。
改善により期待される効果	白井の地域特性にあったふるさとまつりの開催、賑わいを期待できる。

平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・施設等整備事業用）

評価対象年度 H29年度

1 基本情報

事業名	工業団地アクセス道路整備事業		コード	3 - 1 - 2 - 1			
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり				
	工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備						
事業期間	平成20年度～平成32年度	担当	都市建設部	道路課	課等長	鈴木 栄一郎	
予算科目	会計 一般 款 7 項 2 目 2 事業	★工業団地アクセス道路					
根拠法令			事業区分	<input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業			

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	西白井駅圏から工業団地までの円滑な交通の流れを目的とした道路ネットワークの形成を図る必要が生じた。			
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）		
	工業団地立地企業や取引先	工業団地団地への物流を増加させ、産業を活性化させる。		
手段	・白井工業団地及びその周辺から一般国道16号などの幹線道路へのアクセス道路の整備			
	全体計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度以後計画
	用地取得 14,670㎡ 整備延長 2,020m	用地取得 6,910㎡	用地取得 7,760㎡ 道路工事 270m	道路工事 1,750m  (平成32年度供用開始)
	H28用地取得 842㎡ (取得率 5.4%)			

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	用地取得 6,910㎡ (総取得 7,752㎡、総取得率50%)
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目
	整備スケジュールの見直し 本事業は工業団地活性化のための必要性の高い事業であり、事業効果の早期発現が望ましいことから、事業期間を1年前倒し、平成32年度供用開始とした。

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計 A	5,156	16,264	58,014	342,678	341,940	277,900
財源内訳	国県支出金	962	1,163	9,240	157,025	143,000
	受益者負担 B					
	地方債	2,600	800	6,800	152,600	179,000
	その他					
一般財源	1,594	14,301	41,974	33,053	19,940	15,000

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算	
人件費計 C	4,765	4,866	16,295	16,295	16,295	16,295	
内訳	正職員	人数	0.60	0.60	2.05	2.05	2.05
		人件費	4,765	4,866	16,295	16,295	16,295
	臨時職員等	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	9,921	21,130	74,309	358,973	358,235	294,195	
市民1人コストD/人口(円)	157.04	333.26	1,164.91				
受益者負担率B/D(%)							

5 指標 (Check①)

指標名	単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明
① 用地取得率	%	目標	16.7	19.9	51.0	100	取得済面積/計画取得面積
		実績	3.2	5.3	51.0		
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	19.2	26.6	100.0		
指標1 単当たりコスト(千円)			3,100.4	10,061.9	1,626.0	-	コスト効率 向上
② 整備率	%	目標				100	整備済道路延長/計画道路延長
		実績					
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	-	-	-	-	
指標1 単当たりコスト(千円)			-	-	-	-	コスト効率 -

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
有効性	○	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか
	○	手段は適切か、施設等の整備水準は適切か
効率性	○	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか
	○	工法の見直しなど事業費の削減の余地はないか
	○	補助金などの財源を更に活用する余地はないか
	○	実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)
	<input type="checkbox"/> 整備内容・水準の見直し (実施時期: H 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 整備スケジュールの見直し (実施時期: H 30 年 5 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 工法や仕様の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 特定財源の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年 月)
改善内容	平成30年度の交付金決定額に基づき、整備スケジュールを見直す。
改善により期待される効果	交付金の有効活用を図り事業を執行することにより財政負担を軽減することができる。



平成30年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 29 年度

1 基本情報

事業名	工業専用地域振興事業		コード	3 - 1 - 2 - 2		
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり			
	工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備					
事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度	担当	都市建設部	都市計画課	課等長	高石 和明
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -					
根拠法令	都市計画法・都市計画関連法		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	千葉ニュータウン事業の完了、人口減少社会の到来、少子化・高齢化の進展を迎え、持続可能なまちづくりを進めるためには、産業振興に民間活力を導入し、まちの活性化を図る必要がある。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	白井工業団地	地区まちづくり計画の策定等を進め、都市拠点がにぎわうまちづくりの一環として、産業拠点としての白井工業団地の活性化を図る。
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	
	・産業拠点としての白井工業団地の活性化を図るため、当該エリアにおける地区まちづくり計画の策定等を進める。	

3 取組状況 (Do①)

H29年度取組状況	・H28年度に策定した「用途地域の指定方針及び指定基準」により、河原子街道沿道について用途地域の変更並びに地区計画を策定するための調査・研究を行った。 ・工業団地協議会（地区まちづくり協議会）に対して地区まちづくり計画の策定に向けて改正したまちづくり条例について説明し、情報交換を行った。
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）

4 コスト (Do②)

(千円)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度予算	H32年度予算
事業費計 A							
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費計 C		0	1,622	1,590	1,590	1,590	1,590
内訳	正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		人件費	0	1,622	1,590	1,590	1,590
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	1,622	1,590	1,590	1,590	1,590
市民1人コストD/人口(円)		0.00	25.58	24.92			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H27年度	H28年度	H29年度	H32年度	指標の説明	
①	地区計画・地区まちづくり計画の策定数	地区	目標	-	-	-	1	都市計画的手法の成果として地区計画等の策定数とした。 ※H32は累計の目標数	
			実績	-	-	-			
	種別	活動指標	指標の方向	達成率	-	-	-		
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	-	-	コスト効率	-
②	工業用地地価上昇率	%	目標	-	-	-	±0	地価公示の標準地（工業用地平均）の上昇率	
			実績	-	-	-			
	種別	成果指標	指標の方向	達成率	-	-	-		
指標1単位当たりコスト(千円)				-	-	-	-	コスト効率	-

6 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか	○	産業の中心拠点である白井工業団地の振興を図ることは、市の活性化のために必要である。
	対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
	事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	○	
	対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性	国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	地区まちづくり計画の策定等により、産業の中心拠点である白井工業団地の操業環境の向上、白井工業団地の活性化につながるため、有効である。
	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
	他事業との連携・統合の余地はないか	○	
	手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性	民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	都市計画的手法を活用し、民間活力を誘導する取り組みであり効率的である。
	受益者負担について見直す余地はないか	○	
	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
	実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者二つの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向		

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 ( 年度 ) <input type="checkbox"/> 終了 ( 年度 )	
	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	(実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月)
改善内容		
改善により期待される効果		